

日本唯一の「賞金稼ぎ」荒木氏が分析

市橋容疑者モグリの外国人医者で再手術も



荒木秀一氏

一昨年3月、千葉・市川市で起きた英会話講師リンゼイ・アン・ホーカ1さん(当時22)死体遺棄事件で、指名手配犯・市橋達也容疑者(30)の有力情報には懸賞金100万円がかかっている

とあって「市橋捜し」が過熱中だ。日本人唯一のバウンティハンター(懸賞金稼ぎ)で知られる犯後、市橋容疑者の今を分析した。

市橋容疑者は先週、名古屋で整形手術を受けていたことが判明、近影がみられる男が今月初め、

公開された。米FRP連邦捜査官として逃走凶悪犯の摘発に従事してきた荒木氏が、同容疑者の今後の行動を分析する。

「また整形しようと思ってももう日本人の医者にはかかれない。モグリで行く可能性がある」

一方、捜査関係者は9日までに、市橋容疑者と

福岡市内のインターネットカフェに宿泊していたことを確認。

10月中旬にも福岡市内のネットカフェに宿泊し、予約なしで市内の病

協力者がかくまっている？

同容疑者の潜伏先や整形・逃走資金の捻出先について荒木氏が指摘するのは近い協力者の存在だ。「2年半の間、表

市橋容疑者の今の心理状態は、荒木氏に言わせ

と「これだけ顔がさらされ、精神的にかなり追い詰められているが、生への執着心は並外れており、自殺するタマではない」。そんな男が相手だけに、にわかハンターは注意が必要だ。

市橋母が激白

9日のテレビ朝日「スーパーモーニング」で、市橋容疑者の母親が同番組の取材に「息子からは一度も連絡がない。私たちが逃がしているかのような見方があるけれど、

(小林宏隆)